



生命保険料の伸び、2013年に新興アジア市場では回復の見込み

Contact:

Media Relations, Zurich
Telephone +41 43 285 7171

Corporate Communications, Hong Kong
Telephone +852 2582 3660

Corporate Communications, New York
Telephone +1 914 828 6511

Investor Relations, Zurich
Telephone +41 43 285 4444

- 世界の生命保険料は、新興アジア市場の力強い回復にけん引され、2013年に3%増となる見込み
- 多くの主要アジア市場に大きな医療保障ギャップが存在することが、リスク保障商品販売の好機に
- 2013年の世界の損害保険料で予想される伸びは4%だが、新興アジア市場における同保険料は、二桁の伸びを維持する予想

Swiss Re Ltd
Mythenquai 50/60
P.O. Box
CH-8022 Zurich

Telephone +41 43 285 2121
Fax +41 43 285 2999
www.swissre.com

香港、2013年1月15日—スイス・リー・グループ(以下、スイス・リー)の調査「世界の再／保険の2012年の調査報告と2013/14年の見通し」によると、新興アジア市場の生命保険料は2013年に回復し、実質ベースで約10%の伸びを示す見込みです。規制の変更と低い投資利回りが貯蓄型保険商品の伸びを引き続き抑制するであろうことから、生命保険の伸びは、定期保険のようなリスク保障型商品への傾斜をますます強めていくと考えられます。インドや中国など、主要な新興アジア市場に存在する巨大な医療保障ギャップによって、消費者は一層リスク保障商品に向かうようになるでしょう。

より好調な世界の経済環境

世界経済は現在極めて低調ですが、米国の住宅市場の改善、中国の財政・金融刺激策、そしてユーロ圏の緩やかな回復により2013年には景気の上向きが予想されています。多くの主要経済圏で金融緩和と政策は2015年まで継続すると考えられますが、低金利が保険会社の投資収益を減少させます。先進国市場ではインフレは制御されていますが、新興市場ではインフレ圧力が再度上昇するリスクを注意深く監視する必要があります。

スイス・リーのアジア部門チーフエコノミストであるクラレンス・ウォンは次のように述べています。「中国の最近の経済指標は、2013年に経済が改善する見通しを示しています。世界の経済環境が以前よりも好調になっていることを背景に、輸出と工業生産は回復しています。最近数ヶ月の購買担当者景気指数(PMI)の数字も、経済活動の拡大が続くことを示唆しています」

2013年にはアジアで生命保険の伸びが加速

世界の生命保険料の伸びは2012年にはゼロに近い水準でしたが、今年は改善が予想されています。特に新興アジア市場では、インドや中国が、2010/11年に成立した規制への完全対応を進めているため、

保険料の伸びはさらに力強いものになるでしょう。アジアの先進国市場は引き続き、全般的な経済活動の回復により安定的な伸びを維持すると思われます。しかし、債券が満期償還した場合、もっと低利回りの投資商品に再投資されざるを得ないので、収益性は圧迫された状態が続くでしょう。

2012年の新興アジア諸国の保険料は0.1%と若干低下しました。低金利の他に、進行中の規制の変更が生命保険にとっては重要な課題です。中国では、バンカシュアランスの販売を抑制した2011年の規制の変更が一因となって、2012年上旬には保険料が減少しました。インドでは、不適正販売や低い透明性など、保険セクターの既存の問題に取り組むために様々な規制の変更が行われています。クラレンス・ウォンは次のように述べています。「これらの措置は短期的には悪影響を及ぼすかもしれませんが、長期的にはアジア地域の生命保険市場の一層の発展を促進することになるでしょう」

主要新興アジア市場に大きな医療保障ギャップが存在することは、注目に値します。インドでは2020年に436億米ドル*、中国では730億米ドル*の医療費不足となる可能性があり、このギャップが消費者をリスク保障商品購入に向かわせる要因となります。

今後を考えると、世界の生命保険料は2013年には3.2%、2014年にはさらに3.9%回復すると思われます。新興アジア市場国では、2013/14年には10%前後にまで増加が加速すると予想されています。

アジアの損害保険事業は2013年に堅調な伸びを持続

世界の損害保険料の伸びは、2012年に加速を示しており、2013年もこのトレンドが続く可能性が高いでしょう。巨額の災害損害額が発生した2011年に比較すると、2012年の引受業績は改善しています。昨年、先進国市場の金利は安定から若干の上昇を示しましたが、投資利回りの低下を相殺するほどではありませんでした。2013年には特に米国において取り崩せる準備金が枯渇すると予想され、これは特にカジュアルティ保険種目の保険料率引き上げのペースを加速させると考えられます。

アジアにおける損害保険事業は、政府によるインフラ投資等の積極的な経済拡張刺激策が一因となって、過去数年間堅調な成長の勢いを維持してきました。民間消費(ひいては個人向け保険商品)も、輸出主導の成長から国内消費主導の拡大へシフトしようとする取り組みから恩恵を受けています。貿易活動の着実な回復、資産および不動産市場の活況、地域インフラへの持続的投資などが2013年のアジアにおける損害保険料の伸びを下支えするでしょう。さらに、2011/12年の一連の自然災害の後、企業や家庭のリスク認識度が改善していることも成長をけん引すると思われます。

クラレンス・ウォンはさらに次のように述べています。「もう一つの興味深い展開は、自動車保険市場の自由化です。たとえば中国は、自動車損害賠償責任保険における外資の参入を認め始めました。一方で、保険会社により大きな料率設定の自由も与えています。他の市場でも似たような動きが起こっています。自由化と規制緩和に向かう流れは消費者に恩恵をもたらし、保険業界全般の効率性と競争力を高めるでしょう」

しかしながら、収益が迅速に回復することは期待できません。保険引受の収益性は、2013年と2014年にほとんどの市場と部門で若干改善する可能性があります。今年の投資収益は引き続き低水準にとどまり、収益性は、価格と金利の上昇にともなって徐々に改善するでしょう。

改善の見通しではあるがリスクは残る

結論としては、不確実な経済状況、低金利、規制強化などによる課題はありますが、2013年の新興市場における保険事業の見通しは引き続き好調です。たとえば、2013年の新興アジア市場は世界の生命保険料の10%、損害保険料の8%に寄与すると予想されています。この数字は10年前にはそれぞれ4%および2%でした。

*出典:医療保障ギャップ:アジア太平洋地域 2012年

編集者への注記:

アジアの先進国と新興市場国の分類および、(1)実質GDP成長率、(2)生命保険料の実質増加率、(3)損害保険料の実質増加率の詳細に数字については、以下の付属資料をご覧ください。

付属資料

実質GDP成長率	2008	2009	2010	2011	2012 E	2013 F	2014 F
世界	1.6%	-2.1%	4.3%	3.0%	2.5%	3.2%	3.8%
先進工業国	0.0%	-3.7%	3.0%	1.5%	1.2%	1.7%	2.4%
新興市場国	5.6%	1.4%	7.0%	5.7%	4.7%	5.4%	5.8%
アジア合計	3.7%	1.8%	7.3%	4.5%	4.7%	5.0%	5.3%
先進アジア諸国	0.1%	-3.4%	5.1%	0.8%	2.0%	1.8%	2.4%
オーストラリア	2.5%	1.4%	2.5%	2.1%	3.3%	3.1%	3.1%
香港	2.3%	-2.7%	6.8%	5.0%	2.0%	3.8%	4.5%
日本	-1.1%	-5.5%	4.7%	-0.5%	1.6%	1.0%	1.6%
韓国	2.3%	0.3%	6.3%	3.6%	2.6%	3.5%	4.0%
シンガポール	1.7%	-1.0%	14.8%	4.9%	1.2%	2.0%	4.3%
台湾	0.1%	-1.8%	10.7%	4.0%	1.2%	3.4%	3.4%
アジアの新興市場諸国	8.0%	7.4%	9.5%	8.0%	7.0%	7.5%	7.5%
中国	9.6%	9.2%	10.4%	9.3%	7.7%	8.2%	8.0%
インド	6.7%	7.4%	8.4%	6.5%	5.5%	6.5%	7.7%
インドネシア	6.0%	4.6%	6.2%	6.5%	6.3%	5.7%	5.4%
マレーシア	4.8%	-1.5%	7.2%	5.1%	4.5%	4.8%	4.7%
フィリピン	4.2%	1.1%	7.6%	3.9%	5.0%	4.9%	4.7%
タイ	2.5%	-2.3%	7.8%	0.1%	5.5%	4.8%	4.8%
ベトナム	6.3%	5.3%	6.8%	5.9%	5.0%	6.0%	6.0%

生命保険の実質保険料伸び率	2008	2009	2010	2011	2012 E	2013 F	2014 F
世界	0.8%	-3.5%	2.8%	-2.9%	0.0%	3.2%	3.9%
先進工業国	-0.7%	-4.7%	1.6%	-2.5%	-0.5%	2.2%	2.8%
新興市場国	14.7%	6.2%	10.9%	-4.8%	2.4%	8.8%	9.3%
アジア合計	2.0%	4.2%	8.5%	0.0%	5.3%	6.4%	5.6%
先進アジア諸国	-3.0%	1.8%	5.7%	4.5%	7.2%	5.2%	4.1%
オーストラリア	-16.2%	-15.6%	-0.8%	5.9%	-6.2%	4.5%	4.5%
香港	-11.5%	-5.5%	9.5%	6.2%	6.6%	4.8%	5.2%
日本	1.4%	4.7%	4.6%	8.5%	8.0%	5.0%	3.5%
韓国	-6.4%	1.8%	4.8%	-5.2%	4.9%	5.8%	4.8%
シンガポール	-10.4%	-17.5%	3.1%	8.8%	5.6%	3.6%	5.7%
台湾	-1.7%	4.9%	15.8%	-8.0%	14.5%	7.0%	6.0%
アジアの新興市場諸国	19.2%	11.1%	16.1%	-10.6%	-0.1%	9.8%	9.9%
中国	40.9%	12.8%	25.7%	-14.8%	-1.8%	12.0%	12.0%
インド	1.7%	7.9%	-1.9%	-9.6%	-1.9%	5.6%	6.1%
インドネシア	-0.5%	14.2%	20.1%	17.4%	11.7%	8.3%	8.2%
マレーシア	-3.3%	7.0%	8.6%	1.1%	4.8%	5.1%	5.4%
フィリピン	-32.0%	-4.3%	19.0%	16.5%	19.3%	9.9%	8.7%
タイ	3.8%	19.6%	11.7%	6.7%	13.6%	8.5%	6.0%
ベトナム	-11.3%	7.3%	6.9%	-2.1%	1.4%	2.1%	4.9%

損害保険実質保険料伸び率	2008	2009	2010	2011	2012 E	2013 F	2014 F
世界	-1.7%	0.0%	1.5%	2.3%	2.9%	3.7%	4.7%
先進工業国	-2.6%	-0.5%	0.2%	1.1%	1.9%	2.8%	3.7%
新興市場国	5.6%	2.8%	9.5%	8.7%	7.9%	7.9%	9.0%
アジア合計	2.1%	7.4%	10.1%	7.1%	7.8%	6.9%	7.2%
先進アジア諸国	0.1%	3.7%	4.1%	4.7%	6.5%	4.3%	3.6%
オーストラリア	2.1%	4.3%	2.9%	-4.7%	3.6%	3.3%	3.4%
香港	5.6%	7.2%	2.2%	2.2%	4.0%	4.0%	4.5%
日本	-4.0%	-0.1%	0.5%	3.6%	3.2%	3.7%	2.6%
韓国	6.6%	12.4%	13.7%	13.0%	14.6%	5.8%	5.3%
シンガポール	6.0%	-1.3%	6.8%	0.7%	-0.8%	0.6%	2.4%
台湾	-7.5%	-4.6%	2.9%	5.1%	6.6%	5.2%	4.0%
アジアの新興市場諸国	7.7%	16.8%	23.8%	11.9%	10.1%	11.6%	13.0%
中国	10.7%	23.2%	30.3%	12.6%	10.2%	13.0%	15.0%
インド	1.6%	5.4%	9.8%	13.9%	8.5%	7.1%	8.2%
インドネシア	11.7%	2.1%	5.0%	11.2%	12.0%	9.0%	7.6%
マレーシア	2.9%	5.2%	7.3%	4.7%	6.1%	5.2%	4.8%
フィリピン	0.8%	0.5%	12.0%	10.7%	10.1%	7.6%	6.1%
タイ	0.0%	4.4%	10.1%	8.0%	17.7%	11.4%	6.0%
ベトナム	8.3%	17.4%	14.0%	1.6%	1.9%	6.7%	8.4%

スイス・リーについて

スイス・リー・グループは、再保険、元受保険、および保険ベースのリスク移転に関する、世界をリードするホールセールプロバイダーです。直接、またはブローカーを通じて取引を行う顧客基盤は、世界中の保険会社、中堅・大企業、公的機関に亘ります。あらゆる保険種目の標準商品からテイラーメイドの商品まで、スイス・リーは、事業や社会の発展に不可欠な危険の引受を可能にする資本基盤、専門知識と革新力を備えています。1863年にスイスのチューリッヒで創業されたスイス・リーは、世界60カ所で事業拠点を展開し、スタンダード&プアーズから「AA-」、ムーディーズから「A1」、AM Best から「A+」の格付けを取得しています。スイス・リー・グループの持株会社であるスイス・リー・リミテッド(Swiss Re Ltd)の登録株式は、スイス証券取引所に上場しており、ティッカーシンボルSREN で取引されています。スイス・リー・グループに関する詳細は、www.swissre.com、またはツイッターの公式アカウント@SwissRe をご覧ください。

スイス・リーとアジアとの関係は1913年にまで遡り、アジア太平洋地域に約1,000名の社員を擁しています。スイス・リーのアジア本部は香港にあります。